

自分を見つめ直す

一緒にがんばりましょう

園長 平岩ふみよ

バカ殿や変なおじさん、だ、ふんた、アイ、ンといた
 せ、け、で、幅ない世代に親しまれてきた志村けんさんか、
 新型コロナウィルスによる肺炎でせくなりました。70歳
 を迎えた今年に「寅さんシリーズ」の巨匠山田洋次
 監督の映画で初主演が決まっていたそうです。
 志村けんさんのせががは、幼稚園教育現場ではしば
 しば下品や低俗などと批判もありました。私個人
 は「子どもは流行に敏感だなあ。はやくこれを
 超えるものが出てこないかなあ」となどと、のん気に
 でした。
 それにしても、症状が現れてからおおよそ二週間で
 死に至る悪化の速さには、この感染症の恐ろしさが
 身に染みて怖さを感じました。

家族揃って

みんなの手洗い！！

はいのです。しかも活躍できる年令にも限りがあるよ
 うです。自分のペースで楽しめるマラソンは、途中で
 景色を楽しむこともできるのでしょう。見事に完走
 できたあとはそれぞれの達成感があるでしょう。その
 ように考えると、この新型コロナウィルスとの闘いは、
 長く続きそうです。誰でも、自分の今おかれた立場、
 条件を冷静にみつめ、自分のやり方で、感染防
 止ができるといえるでしょう。外出自粛とい
 うのは、家の中ではそれぞれ何をしてもよ
 いのです。日頃できずにそのままにしていること
 や、いろいろあるでしょう。

ニューヨーク知事は最後に、「外出ができない時間
 は、私たちは誰なのか」をじっくり考えるための
 時間なのです。誰かの親であり、パートナーであり、
 友だちであり。自分は誰なのか、と見つめ直して
 きましょう。

自分を見つめ直す。これはなかなかむづかしい
 ですね。でも、新型コロナウィルスから自分や家
 族を守るための「マラソン」をしていけば、「私は
 誰なのか。私にとり大切なものとは私ひとり？」

テレビニュースでニューヨーク州の知事が、落ち着いた
 表情で、くるとした口調で、感染拡大防止への
 訴えをしていました。少し前にはこの知事は切羽
 詰まった表情で語気にも強さを感じましたが、今更
 は少しちび、ていました。

知事は、くると言う言、たのです。(もちろん字幕です)
 「おと家にいると疲れてくるでしょう。もうコロナにはうん
 ざりだ、と思うでしょう。わかります。でもこれは短距
 離走ではなくて、マラソンなのです。じっくり取り組みま
 しょう。同じようなことを京都大の山中教授も話され
 たなあと思いました。

さて、短距離走ではなくマラソン。これはどういう意味な
 のかと考えてみました。距離が長い、時間がかかる。苦し
 いとマイナスのイメージばかり浮かんでしまっています。し
 かし、世界中にマラソンの市民ランナーが沢山います。し
 ゃ、マラソンは、ちびと練習すれば、誰もが自分のペース
 で楽しめる競技なのだという方も大勢知、てい
 ます。短距離走は時間的にはすぐ終わる子かも
 しれないが、特別な才能と、指導者のもとで挑む競
 技で自分のペースで、くると、というわけにはいか

私の家族は、どのくらいの人たちのお陰で今が
 あるのか...と今までは立ち止ま、て考えたこと
 のないような問いと向き合えるのでは...
 ウィルスに感染しない努力をみんなでしたこ
 とで、子どもの笑顔が守れるのなら、じっくり一掃
 にかんばりましょう！！

幼稚園の竹やぶに

「たけのこ」が顔を

出し ぐんぐんのびて

います。うさぎも

元気です

